

第21回FDフォーラム

9月9日（水）
16：00～18：00

コロナ禍において、春学期は皆様の創意工夫のもと何とか授業をつなぎとめられたが、秋学期もオンライン授業が主体となる。長期戦を見込み、我々教員は、より効果的なオンライン授業を構築し、かつ授業を提供する際の技術の向上も図る必要がある。今回は、教育学がご専門で、ICTの教育への活用の面で著名なお二人の講師の先生に、効果的な遠隔授業の立案（デザイン）とそのスキルについてご講演いただく。授業コンテンツ作成の一助となれば幸いであり、未曾有の事態を、愛大教職員の英知を結集し乗り切りたいと考える。

<https://bluejeans.com/687879850/5576>

【IEは動作が不安定になるため、ChromeまたはFirefoxでのご利用を推奨します。】

なお、アプリからの利用も可能です。

<https://www.bluejeans.com/downloads> Meeting ID: 687879850 P.Passcode: 5576

オンライン授業の設計を考える



村上 正行 氏

大阪大学 全学教育推進機構
教育学習支援部 教授

◇専門
教育学、大学教育学。博士（情報学）。
大学教育を対象にした教育データ分析、
ICTを活用した教育、FDに関する研究に従事。

○講師プロフィール

京都大学総合人間学部卒業。京都大学大学院情報学研究科博士後期課程指導認定退学。2002年京都外国語大学外国語学部講師、マルチメディア教育研究センター准教授、教授などを経て、2019年より現職。日本教育工学会理事、教育システム情報学会理事、大学教育学会評議員など。

◆主な論文

「大阪大学におけるメディア授業実施に関する全学的な支援体制の整備と新入生支援の取り組み」、『教育システム情報学会誌』37（4）、2020年（共著）。「大学教育・FDに関する研究における教育学の役割」、『日本教育工学会論文誌』36（3）、2012年（共著）。「映像シーンをを用いた授業要約作成システムを活用した大学授業の実践と評価」、『日本教育工学会論文誌』34（3）、2010年（共著）＜日本教育工学会論文賞受賞＞。

- ・定刻となりましたら、各自で直接アクセスしてください。
- ・レジュメは講師より当日掲載（共有）されます。
- ・カメラ、マイクは講演中には使用しないでください。
- ・質疑応答は、司会の進行にご協力ください。

効果的な遠隔授業を行うために ～様々な教育理論から得られるヒント～



青木 久美子 氏

放送大学 情報コース
・情報学プログラム 教授

◇専門
教育学、社会情報学。Ph.D.
(Communication and Information Sciences)。
ICT（情報コミュニケーション技術）の教育での
活用や社会文化的影響についての研究を行っている。

○講師プロフィール

南山大学外国語学部英米学科卒業。ウイスコンシン大学コミュニケーション研究科修士課程修了。ハワイ大学情報コミュニケーション研究科博士課程修了。ロチェスター工科大学情報技術科専任講師、ボストン大学コミュニケーション学部専任講師、独立行政法人メディア教育開発センター准教授を経て現職。

◆主な著書

『デジタル時代の情報とコミュニケーション』NextPublishing Authors Press, 2019年（共著）。
“Technologies for Lifelong and Lifewide Learning and Recognition: A Vision for the Future,” Spring Nature, 2019年。『日常生活のデジタルメディア』放送大学教育振興会、2018年（共著）。『新しい』大学教育—コンピテンシーに基づく教育（CBE）の実践』、『日本労働研究雑誌』59（10）、2017年。『eラーニングの理論と実践』放送大学教育振興会、2012年。

○問い合わせ先 名古屋学習・教育支援センター 担当：安井 内線20230/052-564-6150